



徳島大学大学院 総合診療歯科学分野

安陪晋講師



があります。その力により歯がグラグラになってしまったり、破損したり、脱落してしまいます。このような歯のトラブルは、国内外

手術時 歯を守るために

「マウスプロテクター」を皆さんはご存じですか？多くの方は激しいスポーツなどに装着し、ボールや相手との接触時に歯を守る道具を想像されるかもしれませんが、確かにこれもマウスプロテクターですが、今回知っていただきたい装置は、全身麻酔下での手術時に装着するマウスプロテクターです。どのような場合に使用するか、なかなか想像がつきにくいと

思いますので、簡単に説明していただきます。全身麻酔時には意識が消失するだけでなく、自力で呼吸できなくなるため、麻酔科医は喉頭鏡を用いて患者さんの口から喉頭を確認し、挿管チューブを入れ人工呼吸器に接続し呼吸させます。喉頭鏡は金属製で、口から挿入する際には顎の前歯に当たってしまう場合

で年間0.1〜0.3%程度生じています。それを未然に防ぐためにも、我々歯科医は全身麻酔時にマウスプロテクターを装着し、歯を守ることをお勧めしています。健全な歯はもちろんのこと、セラミックの歯、インプラント、差し歯、歯周病により歯茎が弱っている歯、更にはまだ歯の根っこが完成していない幼弱永久歯や乳歯に

酔科医にも患者さんにも安心・安全に手術を受けてもらうことが可能となります。更に、2018年4月から、健康保険が適用となりました。今後手術を受けられる場合には主治医とご相談され、マウスプロテクターの装着を検討してください。また、我々も皆さまからのご相談をお受けしております。

についても、マウスプロテクターによる防護が有用です。マウスプロテクターは、患者さん一人一人の歯の型取りをしてからオーダーメイドで作製していきます。素材がエチレン酢酸ビニールという柔らかい材料を使用するので歯に優しくフィットします(画像参照)。それにより、衝撃が加わっても歯を十分に保護してくれます。マウスプロテクターを装着することで、喉頭鏡を使う麻



子供用と大人用のマウスプロテクター